

製品名: SSH3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18300**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 74kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | SSH3 |
| 別名 | SSH3; SSH3L; Protein phosphatase Slingshot homolog 3; SSH-like protein 3; SSH-3L; hSSH-3L |
| 遺伝子 ID | 54961.0 |
| SwissProt ID | Q8TE77 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト SSH3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 357-406 |

背景

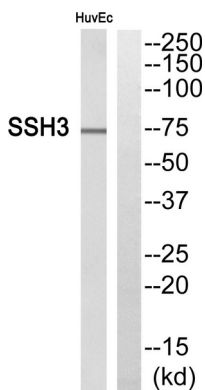
ADF (アクチン脱重合因子) /コフィリンファミリー (MIM 601442 参照) は、アクチンダイナミクスの刺激応答性メディエーターか

ら構成されています。ADF/コフィリンタンパク質は、LIM ドメインキナーゼ-1 (LIMK1; MIM 601329) などのキナーゼによって不活性化されます。SSH ファミリーは、生体内で ADF/コフィリンタンパク質を再活性化することで、アクチンダイナミクスに役割を果たしていると考えられます (Niwa et al., 2002 [PubMed 11832213])。[OMIM 提供、2008 年 3 月],触媒活性: リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸。触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。機能: アクチンフィラメントのダイナミクス制御に関与する可能性のあるタンパク質ホスファターゼ。アクチン結合/脱重合因子コフィリンを脱リン酸化して活性化し、アクチンフィラメントに結合してその分解を刺激します。その他:このタンパク質のチロシンホスファターゼ活性は、現在まで実証されていません。PTM:DNA 損傷時にリン酸化されますが、おそらく ATM または ATR によるものです。類似性:タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属します。類似性:1つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含みます。サブユニット:フィラメント状アクチンに結合せず、共局在しません。

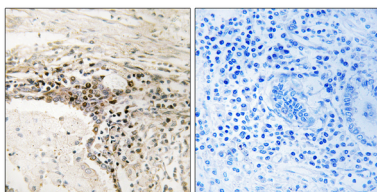
研究分野

アクチンと細胞骨格を調節します。

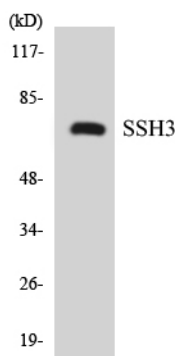
画像データ



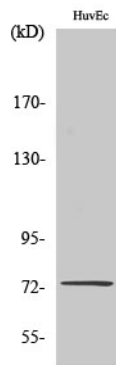
SSH3 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは SSH3 ペプチドでブロッキングされている。



SSH3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右レーンは SSH3 ペプチドでブロッキングされている。



SSH3 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



SSH3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析